

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和5年7月20日（木）

2 確認箇所

F2タンクエリア

3 確認項目

F2タンクエリアの状況

4 確認結果の概要

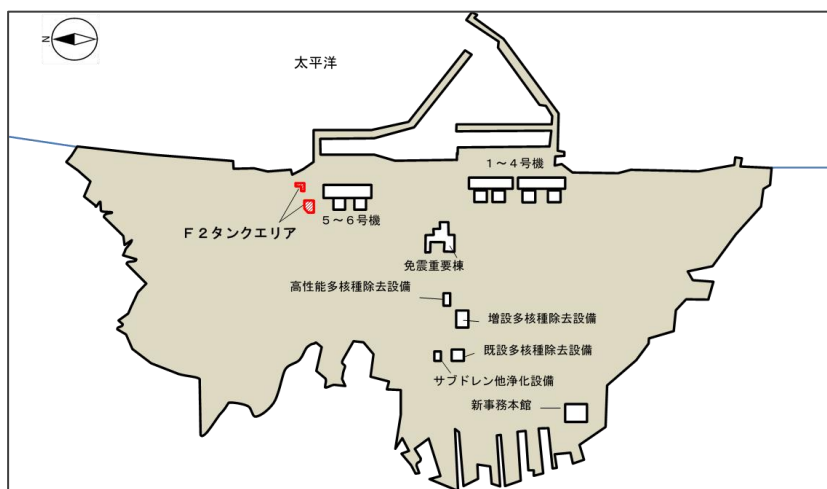
現在、5・6号機滞留水は、F2タンクエリアのタンク（フランジ型タンクを含む）を経由してF1タンクエリアに移送され、浄化处理された後、構内に散水されている。

フランジタンクは溶接型タンクに比べて漏えいのリスクが大きいため、東京電力は順次置き換えを進めており、F2タンクエリアにおけるC群タンク（フランジ型）も今年度運用を停止する計画である。

5・6号機滞留水は、F2タンクエリアC群タンクを通さずF1タンクエリアに移送できるように、移送ポンプ及び移送配管を改良する計画があることから、F2タンクエリアの現況について確認した。（図1）（前回確認：令和元年12月17日）

- ・ F2タンクエリアはA、B、Cの3つのタンク群から成り、A群タンクは12基の鋼製角形タンク、B群タンクは4基の鋼製角形タンク、C群タンクは7基の鋼製円筒型タンク（フランジ型）で構成されている。東京電力によれば、このうちA・B群タンク共に運用停止中であるが、内包水があるとのことだった。
- ・ 前回確認時、A群、B群タンクエリアには雨水カバーが設置されていたが、今回確認したところ、雨水カバーは撤去されていた。（写真1）（写真2）
- ・ A群、B群タンクは鋼製の堰を共有している。A群タンク北側、東側の堰で複数の貫通穴が見られたため、東京電力に情報提供した。（写真3）東京電力によれば、日々のタンクパトロールで外観及び水位確認を実施し、漏えいがないことを確認しているとのことであり、堰は修理予定とのことである。
- ・ A群、B群タンク共に、塗装の剥離や錆の発生が見られた。
- ・ C群タンクの外面下部には補修塗装した跡が見られたが、ボルト周辺には錆が発生していた。（写真4-1）
- ・ 運用停止予定であるC群タンクの移送ポンプを確認した。2系統あるうちの1系統は運転中であった。（写真4-2）

- ・ A～C群いずれのタンクについても目視の範囲では漏えいの痕跡等は確認されなかった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
F2タンクエリア A群タンクの状況 (北東側から確認)
(撮影日: 令和元年12月17日)



(写真1-2)
F2タンクエリア A群タンクの状況 (北東側から確認)
(撮影日: 令和5年7月20日)



(写真2-1)
F2タンクエリア B群タンクの状況 (北側から確認)
(撮影日: 令和元年12月17日)



(写真2-2)
F2タンクエリア B群タンクの状況 (北側から確認)
(撮影日: 令和5年7月20日)



(写真3)
F2タンクエリア A群タンク北側の堰貫通穴の状況 (黄矢印)



(写真4-1)
F2タンクエリアC群タンク



(写真4-2)
F2タンクエリアC群タンク移送ポンプ

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。